

Global Point Japanese Language School
グローバルポイント日本語学院
募集要項

1. 募集コース・修業期間・入学期・収容定員・出願期間

課程名	修業期間	入学期	収容定員	出願期間
進学 2 年コース	2 年	4 月	60 名	前年 5 月 1 日～11 月 20 日
進学 1 年 6 か月コース	1 年 6 か月	10 月	40 名	1 月 1 日～5 月 30 日

※締切日後は、一切受け付けませんので、ご了承下さい。

2. 応募資格

- ①自国の普通教育課程で 12 年以上を修了した者、または同等の資格を有する者
- ②日本語教育機関で 150 時間以上の日本語学習歴を有する者
- ③日本語参照枠 A1 修了相当以上の日本語能力を有する者
(JLPT：N5 レベル以上／J-test:F 級以上あるいは同等の能力を有する者)
- ④基礎学力：高校または大学の基礎学力・取得している資格試験成績
- ⑤日本への留学目的が明確であり、留学資金を有する者
- ⑥信頼のおける保証人を有する者
- ⑦心身ともに健康である者

3. 各課程の学習時間・学習内容・到達目標

(1)各課程の学習時間・到達レベル

課程名	学習期間	修業期間	到達レベル	授業科目（レベル）	授業時間
進学 2 年コース	〈1 年目〉 4 月～9 月	2 年	B2（後半）	初級（A1～A2）	400 単位時間
	10 月～3 月			中級（B1）	400 単位時間
	〈2 年目〉 4 月～9 月			中上級（B2 前半）	400 単位時間
	10 月～3 月			中上級（B2 後半）	400 単位時間
				総学習時間：1600 単位時間／週 20 時間×80 週	
進学 1 年 6 か月コース	〈1 年目〉 10 月～3 月	1 年 6 か月	B2（前半）	初級（A1～A2）	400 単位時間
	4 月～9 月			中級(B1)	400 単位時間
	〈2 年目〉 10 月～3 月			中上級（B2 前半）	400 単位時間
				総学習時間：1200 単位時間／週 20 時間×60 週	

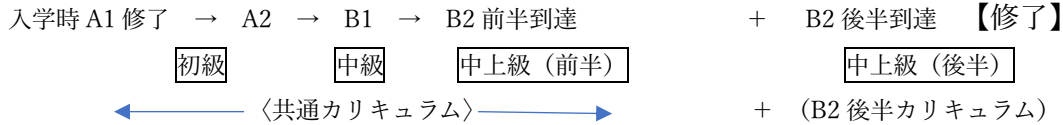
〈進学 2 年コース〉：大学への進学を目指し、段階的な学修を通じて、高度な理解力及び表現力を身に付け、修了時に日本語参照枠 B2 後半相当の日本語運用能力への到達を目指す。

〈進学 1 年 6 か月コース〉：専門学校への進学を主な目標として、修了時に B2 前半相当の日本語運用能力への到達を目指す者。なお、学習状況及び進路希望に応じて大学等への進学にも対応する。

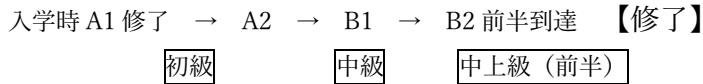
(2)進学2年コース／進学1年6か月コースのカリキュラム構成とレベル別到達目標

■カリキュラム構成

【進学2年コース】高度な読解・論述・抽象的思考に対応



【進学1年6か月コース】基礎的学術日本語学習に対応



※各コースでの学習状況及び到達度に応じて、進学指導及び学習支援を行い、個々の生徒にとって適切な進学先の選択を支援する。

■レベル別到達目標

※本課程では、日本語参照枠に基づき A1 から B2 後半まで段階的に日本語能力を養成する。

〈初級（A1）〉

日常生活に必要な基礎的な日本語能力を習得し、簡単な意思疎通ができる力を身につける。

- ・基本的なやりとりや短い文の読み書きができる。

〈初級（A2）〉

身近な話題について理解し、情報を伝えたり簡単に自分の考えを表現したりする力を養成する。

- ・日常的な話題について簡単な情報交換ができる。

〈中級（B1）〉

日常的及び学習的な内容を理解し、理由を挙げて自分の考えを表現できる力を育成する。

- ・要点を理解し、自分の意見を述べることができる。

〈中上級（B2 前半）〉

進学に必要な日本語能力の基盤を形成し、講義や資料に対応できる力を養う。

- ・講義や資料の要点を理解し、考えを整理して表現できる。

〈中上級（B2 後半）〉

大学等での学修に対応できる日本語能力を総合的に高める。

- ・専門的内容を理解し、論理的に意見を述べることができる。

(3)授業科目内容

※本校では、すべての科目においてコミュニケーション活動を重視し、日本語の言語知識を得るだけでなく、運用することを通して、進学後に必要な実践的日本語能力の育成を目指します。

〈会話・文法〉

- ・日常生活や進学後に必要な日本語表現を、実際のやりとりを通して学ぶ。文法は会話や発表、意見交換などの活動の中で身につけ、使える日本語の定着を図る。

〈漢字・語彙〉

- ・進学や学習に必要な漢字・語彙を体系的に学び、読解や作文、会話活動と関連づけ、実際に使える語彙力の習得を目指す。

〈読解〉

- ・新聞記事や説明文、学術的な文章など多様な文章を読み、内容理解だけでなく要点把握や意見交換を行う。進学後に

必要な読解力と批判的思考力を養う。

〈作文〉

- ・身近なテーマから意見文・レポートまで、目的に応じた文章表現を学ぶ。また、書いた内容を発表、共有する活動を通して、自分の考えをまとめる力と表現力を高める。

〈キャリアデザイン〉

- ・進学や将来の進路について考え、自己理解を深めるとともに、必要な情報を収集・整理する。目標設定を行い、主体的に進路を考える力を育成する。

〈プロジェクトワーク〉

- ・テーマに基づき調査・分析・発表をグループで行う。日本語を使って協働することで、実践的なコミュニケーション能力と課題解決力を養う。

〈異文化理解〉

- ・日本の文化や社会を学ぶとともに、多様な文化や価値観への理解を深める。意見交換やディスカッションを通して、多様性を理解し、円滑なコミュニケーション能力を養う。

〈対策（EJU/JLPT）〉：中級（B1）～中上級（B2 前半／B2 後半）

- ・進学に必要な日本留学試験や日本語能力試験の対策を行う。試験問題を活用し、解答理由の説明や意見交換、振り返りなどの活動を通して、理解を深める。実践的な演習により、試験対応力と日本語運用能力の向上を図る。

* 年 2 回、日本語能力試験、日本留学試験の前に模擬試験を実施する。実施後は各自、自分の結果を分析し、授業では訂正やフィードバックを行う。

4. 各課程の成績評価・修了要件・卒業

〈成績評価〉：各科目の評価及び総合評価は、学習到達目標に基づき、定期試験及び授業内評価（活動〔パフォーマンス評価〕、課題・提出物、授業への参加態度等）を総合して、以下の区分により評価する。

* 定期試験を実施しない科目については、パフォーマンス評価及び授業内評価、課題提出、授業態度を評価の対象とする。

【A】：100～90	当該レベルの到達目標を十分に達成している。
【B】：89～70	当該レベルの到達目標を概ね達成している。
【C】：69～60	当該レベルの到達目標を最低限達成している。
【D】：59～0	当該レベルの到達目標に未達である。

- ・成績評価は100点満点で算出し、【A】【B】【C】【D】の4段階評価とする。【C】以上を合格とし、合格基準に達しない生徒に対しては補講を実施し、再試験を行う。

- ・補講、再試験又は課題提出等(定期試験を実施しない科目)により再評価を行い、その結果60点以上を得た場合は当該科目を合格とし、その成績評価は【C】とする。

〈修了要件〉：以下の要件をすべて満たしていること

- ・所定の在籍期間を満了していること

- ・出席率が90%以上であること

※出席率は、当該課程の総授業時間数に対する出席時間数の割合により算出する。

- ・各学期に実施する試験、課題、授業内活動等による総合評価において、各科目の成績が合格基準【C】以上であること。

- ・最終学期に実施する期末試験を最終到達試験として位置付け、その結果により当該課程の到達目標（B2 相当）を満たしていると認められること

- ・修了認定会議において、当該課程の修了が適当であると認められること

* 各課程の修了認定は、評価の客観性および妥当性を確保するため、会議において、修了予定の全生徒について、クラス担任の資料提示（成績及び出席率）と報告に基づき、教務主任、校長とともに、協議し決定する。

* 外部試験の結果は、参考資料として用いる。

- ・納付すべき納付金をすべて納入していること

- ・修了要件を満たした者は卒業とし、卒業証書を授与する。

- ・修了要件を満たさなかった者及びコースの途中で学習を終えた者に対して、校長はそれに応じた学修証明書を授与する。

5. 授業日数と授業時間

※1日4単位時間（午前または午後の2部制）、週5日（月曜日から金曜日）、年間200日授業を実施する。

（授業時間：1単位時間は、45分とする。）

※〈進学2年コース〉午前授業／〈進学1年6か月コース〉午後授業

時限	午前授業	午後授業
点呼	08:55 ～ 09:00	12:55 ～ 13:00
1限	09:00 ～ 09:45	13:00 ～ 13:45
2限	09:55 ～ 10:40	13:55 ～ 14:40
3限	10:50 ～ 11:35	14:50 ～ 15:35
4限	11:45 ～ 12:30	15:45 ～ 16:30
掃除	12:30 ～ 12:40	16:30 ～ 16:40

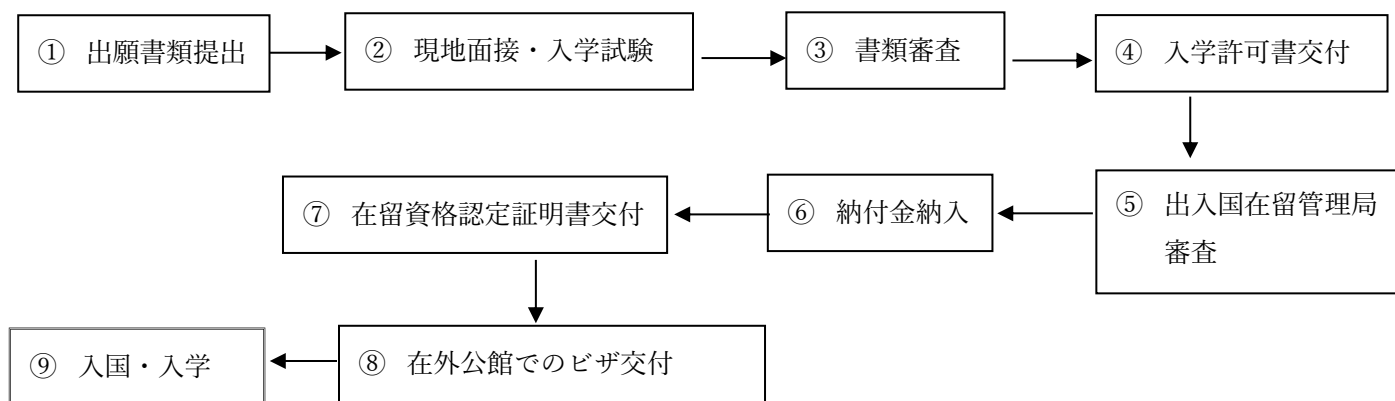
6. 年間スケジュール

4月	入学式、オリエンテーション、プレースメントテスト、個人面談、交通安全指導
5月	遠足、健康診断、日本留学試験模擬テスト
6月	日本語能力試験模擬テスト、文化体験または交流会、第一回日本留学試験
7月	前期中間試験、第一回日本語能力試験
8月	スピーチコンテスト、夏休み、避難訓練（消防）、補習
9月	前期期末試験、秋休み、校内進学説明会
10月	入学式、オリエンテーション、プレースメントテスト、個人面談、交通安全指導 日本留学試験模擬テスト
11月	遠足、健康診断、第二回日本留学試験 日本語能力試験模擬テスト 文化体験または交流会
12月	後期中間試験 第二回日本語能力試験
1月	スピーチコンテスト、冬休み、初詣、避難訓練（消防）、補習
2月	卒業発表会
3月	後期期末試験、卒業式

7. 奨学金

奨学金		
特待生	出席率100%の成績優秀者で、日本語能力試験N2に合格 または日本留学試験日本語250点以上	50,000円
奨学生	出席率100%の成績優秀者で、日本語能力試験N3に合格、または 日本留学試験日本語200点以上	20,000円
成績優秀賞	出席率95%以上で、クラスで科目の総合点が1位の成績優秀者	10,000円
皆勤賞	出席率100%で授業における態度が優良な者	5,000円 (1年間、該当者全員)

8. 申請手続きの流れ



9. 応募書類

【申請人提出書類】

- ①入学願書、履歴書、留学理由書
- ②日本語学習歴
- ③在学証明書もしくは在職証明書
- ④最終学校の卒業証明書
- ⑤最終学校の成績証明書
- ⑥日本語能力証明書類(コピー)
- ⑦出生証明・経費支弁者との親族関係証明書(原本)
- ⑧パスポートのコピー (*もしあれば)
- ⑨証明写真8枚(縦4cm×横3cm、最近3ヶ月以内に撮影したもの、背景は白)

【経費支弁者提出書類】

- ①経費支弁書
- ②在職証明書
- ③年収証明書(納税が分かるものであること)
- ④預金残高証明書(原本)
- ⑤出入金明細

〈注意〉

- ①文書や証明書類は、過去3ヶ月以内に記入されたものに限る。
- ②提出書類は原則返却しないが、再発行ができない原本書類については返却可能
- ③日本語以外の言葉で書かれた証明書に関しては、別紙にて日本語の翻訳をつけること

10. 納付金

(1) 納付金

＊「在留資格認定証明書」が発行された後、納付金を指定された期日までに支払ってください。

納付金の納入を確認した後、「在留資格認定証明書」を送付します。

【納付金の内訳（税抜き）】

単位：円

課程名	修業期間		入学 検定料	入学金	授業料	施設費	設備費	教材費	課外 活動費	保険料	健康 管理費	合計
進学 2 年 コース	2 年	1 年目	30,000	60,000	650,000	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000	1,570,000
		2 年目			650,000	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000	
		計	30,000	60,000	1,300,000	40,000	40,000	40,000	20,000	20,000	20,000	
進学 1 年 6 か月 コース	1 年 6 か月	1 年目	30,000	60,000	650,000	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000	1,200,000
		2 年目			325,000	10,000	10,000	10,000	5,000	5,000	5,000	
		計	30,000	60,000	975,000	30,000	30,000	30,000	15,000	15,000	15,000	

※上記に別途消費税を加算する。

(2) 納付時期

〈1 年目の納付金〉

①入学検定料の納付：入学選考へ申し込み時

②入学検定料を除いた納付金の納付：在留資格認定証明書の交付後

〈2 年目の納付金〉＊残りの納付金は入学 1 年後から以下のとおり支払ってください。

（支払い期日は後日通知します。）

4 月生（進学 2 年コース）：半年間の納付金 370,000 円（2 回納付）

10 月生（進学 1 年コース）：半年間の納付金 370,000 円（1 回納付）

※期日までに納付金されない場合、「退学勧告」をすることがあります。

(3) 納付金の振込先

＊すべての送金については、以下の学校指定の銀行口座に送金すること

銀行名：RESONA BANK LTD.

支店名：UEROKU BRANCH

住 所：6-5-13 UEHONMACHI TENNOUJI-KU OSAKA JAPAN SWIFT：DIWJPJT

会社名：MEI SEI SANGYO CO.LTD

口座番号：0327115

電話番号：080-3855-6686

11. 納付金の返金について

（入学検定料）

入学検定料は、出願受理後は返金しない。

（在留資格認定証明書不交付の場合）

在留資格認定証明書（COE）が不交付となった場合は、入学検定料を除き、納付済み費用を返金する。

2 返金申請者は、次の資料を提出しなければならない。

1. 在留資格認定証明書不交付通知書の写し

2. 送金先口座情報
 3. その他本校が必要と認める資料
- 3 送金手数料は申請者負担とする。

(査証不発給の場合)

査証（ビザ）が発給されず、かつ入学意思がなくなった場合は、入学金を除く納付金を返金する。

- 2 返金申請者は、次の資料を提出しなければならない。
1. 査証不発給が確認できる書類
 2. パスポートの本人確認ページの写し
 3. 送金先口座情報
 4. その他本校が必要と認める資料
- 3 送金手数料は申請者負担とする。

(査証取得後の入国前辞退)

査証取得後、入国前に入学を辞退した場合は、入学検定料及び入学金を除き返金する。

- 2 返金申請者は、次の資料を提出しなければならない。
1. パスポート本人確認ページの写し
 2. 査証ページの写し
 3. 日本へ入国していないことを確認できる資料
 4. 査証の失効又は未使用が確認できる資料
 5. 送金先口座情報
 6. その他本校が必要と認める資料
- 3 本校は、提出資料に基づき、査証が未使用であり日本へ入国していないことを確認した上で返金を行う。
- 4 送金手数料は申請者負担とする。

※入学後の返金については、学則の納付金返金規程のとおりとする。

12. 校舎の所在地、概要及び立地条件

〈所在地〉

学校名：グローバルポイント日本語学院

設置者：明星産業株式会社

住 所：〒544-0005 大阪府大阪市生野区中川2丁目14-2

電話番号：070-6481-6686 E-mail: minghui2016@yahoo.co.jp

交通アクセス：最寄り駅 地下鉄今里駅から徒歩約15分／近鉄今里駅から徒歩約15分

〈概要〉

- ・校舎は3階建て、教室3室（1階、2階）、図書室（2階／日本語の本、漫画、雑誌等、自習もできます。）、共有スペース（2階）、保健室（3階）

〈立地条件〉

- ・校舎の近くにはコンビニ、飲食店があります。住宅街でもあるので、静かな環境で勉強できます。春には桜がきれいな公園やグラウンドもあり、休みの日はリフレッシュできる環境があります。緊急避難先の小学校、消防署もすぐ近くにあるので、災害時や病気の時、早急な対応が可能です。

13. 設置者について

(1)設置者

設置代表者	明星産業株式会社 代表取締役 宇部恵
所在地	〒544-0005 大阪府大阪市生野区中川 2 丁目 14 - 2

(2)沿革・実績・社会活動

2018 年：日本語教育事業として明星産業株式会社を設立 資本金：600 万

2020 年：大阪明星国際日本語学校を設立、新型コロナウイルス感染症拡大により入国停止

2021 年：大阪ニューポイント日本語学校へ名称変更

2026 年：本社を生野区へ移転、3000 万円資本金増資

14. その他

【在学中の生活費用について】

(例) 生活費内訳（全国平均）出典：「令和 3 年度私費外国人留学生生活実態調査」（JASSO）

住居費	38,000 円
食費	28,000 円
光熱費（水道・電気・ガス）	7,000 円
保険・医療費	3,000 円
趣味・娯楽費	5,000 円
通学費	4,000 円
雑 費	8,000 円
合計	93,000 円

【寄宿舎について】

・寮：なし

・入国後に住む家について：寄宿舎として準備できておりませんが、不動産会社を紹介し、部屋探しの手伝いをします。

入国前に、賃貸契約を結び、入国後に住むことができるように準備しますので、ご安心ください。また、布団や食器、必要最低限の家具も準備しておきますので、入国してすぐ生活することができます。

生野区の部屋（例）：コーポ中川 1 R/14.2 m² 賃料 4.5 万円/月

【アルバイトについて】

・留学生が日本でアルバイトするためには、資格外活動許可を受ける必要があります。

・資格外活動許可の包括許可が認められた場合は、1 週につき 28 時間以内（夏季休暇など学則で定められた長期休業期間中であれば 1 日 8 時間かつ 1 週 40 時間以内まで）のアルバイトができます。

・アルバイトの場所は、必ず学校に伝えてください。

・資格外活動許可に違反している場合は、在留期間の更新が認められない可能性があります。

・制限時間を超えたアルバイトをした場合は、本国送還・罰金・懲役などの処分を受けますので絶対にしないでください。

・風俗営業や風俗関連営業が行われる場所でのアルバイトは禁じられています。スナック・ナイトクラブ・客の接待をして飲食させるバー・喫茶店・カフェなどでは皿洗いや掃除をすることも禁止されていますので、絶対にしないでください。

【困ったことがあったら】

・日本での生活・在留に関して困った時はまず、学校に相談してください。

・必要に応じて、出入国在留管理局や居住地である市区町村の相談窓口などと連携し、適切な支援を行います。